

平成 28 年度 地域志向教育研究プロジェクト中間報告書

| | | |
|--|------------------|--------|
| 番号 | 12 | |
| ① プロジェクト名称 | 農業支援機器開発プロジェクト | |
| ② プロジェクトメンバー(代表のみ) | | |
| 工学部ロボティクス学科 | 竹井 義法 | 代表 |
| ③ 参加学生数(報告時点) | | |
| 学部 1～3 年次生 | 研究室所属学生 (大学院生含む) | 外部参加者数 |
| 16 名 | 0 名 | 0 名 |
| ④ 活動報告 (これまでの活動、年度末のまでの活動予定、活動における課題等について書いてください。フォントは 9～11pt 以内。行間は適宜。写真や図も O.K) | | |
| <p>本プロジェクトでは、ロボット技術や情報技術を活用した農業支援に焦点を当て、農業における様々な課題に地域の人々と連携して取り組み、地域貢献と本学学生の実践的学びの場の創出を目指して活動を行っている。平成 27 年度に採択された「農業支援ロボット開発プロジェクト」での活動をふまえ、現在、具体的な農業支援機器開発に関するプロジェクトとして、以下の課題に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 水稲作における水田内除草ロボットの開発 ● 水温水位等を含む水田管理を行うモニタリング機器開発 ● 農作業時の負荷軽減を行うアシスト機器開発 ● 畦道等における自動除草ロボットの開発 <p>本年度の活動として、上記の 4 テーマの農業支援機器の開発を行う各グループの活動を基本に、プロジェクトの自立的継続を見据えた連携先企業との共同研究への展開や、インターンシッププログラムとの連携を視野に、地域社会における新たな共創的人材育成プログラムの構築とその実践を目指している。前学期では、新たに参画したメンバーの技術向上を目的としたプログラミングや CAD 等、自主的な勉強会の実施や上記 4 テーマの実現に向けての具体的な検討を進めた。現在、平成 28 年度に新たに参加した 9 名を含む、合計 20 名の学生がプロジェクトに参加しており、週 1 回、火曜日 5 限を活動日として、グループの進捗を確認するミーティングと各グループの自由な活動時間とを各週で行うことを基本に活動している。各グループとも、ようやく具体的な製作に着手しつつあるところであるが、その実現に向けて学生主体による活動を進めている。</p> <p>今後は、各グループにおける支援機器の製作を進める他、現在、先行して実施している地元企業との農業支援に関連する共同研究の中への参画等、様々な活動を展開する予定である。</p> | | |

